

## WiRES-X 運用システムのシステムと要領

	ハード面での機器構成	運用の基本システム	運用要領
1	無線機単体での運用	最寄りのノード局を通じてWiRES-Xのネットワークへ接続	通信圏内で、指定周波数に合わせてC4FMの無線機の「DX」ボタンを押すだけでネットワークに接続できます。
2	無線機とPCを接続してのノード局運用	① 【ポータルデジタルノード局】 (無線機とPCの接続のみ)	指定周波数や電波の伝搬状況を気にせず、ノード局のDTMF IDでのオンライン接続が可能となります。
		② 【フルスペックの固定型ノード局】 (インターフェイス装置「HRI-200」を挿入)	① との大きな違いは「ROOM」の併設運用が可能となります。

※ 通信ネットワークでは、ノードとは通信の主体となる個々の機器のことをノードと言いますが、アマ無線でも信号やデータを送信、受信、転送する機能を持つ無線局をノード局と言います。ROOM機能とは、多くのノード局が集合してひとつの大部屋を構成します。災害時等の特定の目的を持ったネットワーク集団などが構成可能です。